

京都芸術教育コンソーシアム 令和6年度京都芸術教育研究事業

京都市立安朱小学校（京都市山科区）との連携

研究テーマ

「芸術を通して、自分や他者、作品とかわりをもつことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す」

取組内容

「安朱のまちの魅力カルタをつくろう」

学年

3学年（2クラス）・育成学級（2名）

本学担当教員

芸術学部 加納講師、高橋助手

学生

芸術学部1年 D24086 溝田亜佳沙、D24031 紺谷有花

実施スケジュール

2024	5/20（月）	安朱小学校との打ち合わせ
	9/27（金）	連携授業① 絵の描き方レクチャー
	10/31（金）	連携授業② 途中経過絵の描き方レクチャー
	11/26（火）	連携授業③ 講評
2025	1/23（木）	連携授業④ カルタ納品、全体の振り返り

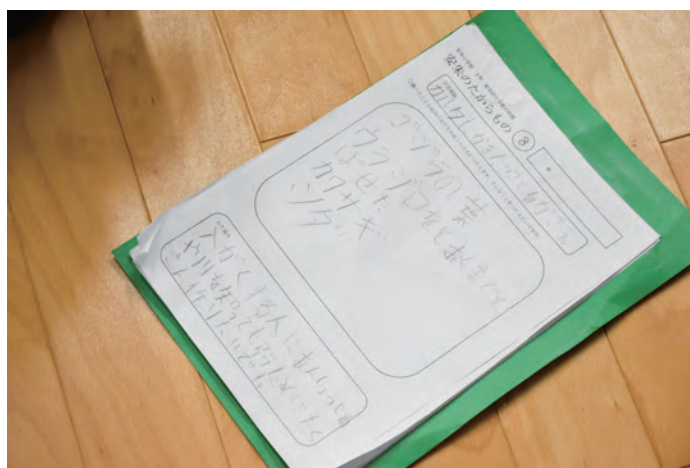
3学年総合的な学習の時間では、地域の魅力を発見することをテーマに山や川でフィールドワークを行い、そこで発見した地域の魅力をこどもからお年寄りまでが遊べるカルタにすることで、残せる・遊べるものとして成果発表とする。大学側の役割として、絵の描き方、表現の仕方などをレクチャーすることで、身に付けた技術を活かして表現する力を育て、芸術により関心を持たせることを目的として取り組む。

1回目の連携授業は色の関係性（仲良しの色、けんかする色）、上手な絵に見える描き方テクニックをレクチャーし練習。2回目は児童が描いた絵をより良くする追加のテクニックをレクチャー。3回目はグループごとに完成した絵のプレゼンを行った後、加納講師による全作品の講評を行う。この後、本学にて絵札・読み札のデータ化を行い印刷会社に発注。カルタの箱デザインを学生2名が提案し、児童たちの投票で溝田さんの案に決定。4回目の連携授業に完成品を届けて、校長先生をはじめクラス担任以外の先生も参加し、カルタで遊んだ。授業の最後には全体の振り返りを行い、今年度の連携事業を完了した。

連携授業① 2024/9/27

色の使い方、絵の描き方のテクニックをレクチャーし、練習で描かせる。

児童は1学期にフィールドワークを通じて、カルタの絵札に描く絵のテーマをまとめており、ここで学んだテクニックを活かして絵を描いていく。



連携授業② 2024/10/31

絵の進捗確認。児童が描いた絵をさらに良くするためのテクニックを追加でレクチャーし、自分の絵に使えるテクニックを練習する。
次回の連携授業までに完成を目指す。



連携授業③ 2024/11/26

完成した絵をグループにわかれてプレゼンを行う。
その後、全員の前で数名がプレゼンを行う。
後半は加納講師から全員の絵について講評を行い、
完成した絵と読み札を描いた用紙を預かり、大学
でデータ化の作業に入る。



連携授業④ 2025/1/23

完成したカルタを届け、校長先生や他の学年の先生も交えて全員で試遊。
最後に振り返りを行って、今年度の連携事業は終了となる。

